

平成26年東通村消防団出初式

1月7日、村体育館駐車場において、平成26年東通村消防団出初式が行われ、濱端源三団長以下団員305名と特別参加の下北試験場消防隊が越善靖夫村長の観閲を受け、防災への決意を新たにしました。

早朝より整然と整列した団員は、関係者が見守る中、現況報告・通常点検を行い、越善村長、濱端団長他、関係者による砂子又八幡宮拝礼を行い、今年1年の無災害を祈願しました。

東通オフサイトセンター前で行われた分列行進では、濱端団長を先頭に3大隊に分かれた団員が整然・堂々で行進。続いて行われた纏振り演技では、一糸乱れぬ華麗な纏振りが披露されました。真冬の厳しい寒さの中でも堂々とした勇姿に、地域住民の安全を守る消防団員としての覚悟が感じられ、会場から大きな拍手が送られていました。

濱端団長から「消防人としての自覚と誇りを忘れることなく、日常活動に精励したい」と決意が述べられ、越善村長は「団員の皆様には、東通村消防団の伝統を大切にしながらも、引き続き、消防署との連携をもって、消防活動に精励されるよう強く願います」と訓示しました。



防災への決意を述べる濱端団長



観閲者の越善村長



寒さに動じず整列する団員の皆さん



勇壮な纏振り演技を披露



堂々で行われた分列行進